

国保問題

問 来年度保険税の状況は

答 近い将来引き上げのお願いを



田中 榮一 議員

【国民健康保険事業について】

**問** 来年度保険税の引き上げは。

**村長** 保険給付費準備基金残高は1億3千万円ほどですが、医療費は増加傾向にあり、平成25年度の国保会計はしのげると推察しますが、平成26年度の状況は見えませんが、近い将来保険税の引き上げの時期が来ることは間違いないと思います。

**問** 引き上げる場合の算出基準は。

**村長** 1年間の医療費、後期高齢者医療支援金、介護支援金などの総額を推計し、

本人負担分、一定のルールにより算出した国、県の支出金の繰入金の見込み額を差し引きし、賦課すべき保険税総額を推計し、所得割、資産割、均等割、平等割により按分して、それぞれの保険税率を決定していきます。



特定健診の検診車 早期発見が大切

**問** 滞納者への徴収業務は。

**村長** 国保税だけ特別な取り扱いはしておらず、村税と同様に国税徴収法、地方税法、村税条例により徴収を行っています。

【生活習慣病予防対策について】

**問** 小中学校での取り組みは。

**村長** 各校独自に「食に関する指導の全体計画」を策定し、食育の推進に努めています。

**問** 特定検診の実態と今後の取り組みは。

**村長** 受診率は全体で42・2%です。生活習慣病は早期からの指導により、改善される方が多く見られるので、受診率の向上が重要です。現在、受診されない方全員にアンケート調査を実施中で、来年度からの受診率向上を目指したいと思っています。

**問** 早期発症予防のため、住民福祉課、教育委員会など横の連携が必要と考えるが。

**村長** 住民福祉課が主体となり、情報提供や健康教室、相談、訪問指導など、健康づくりに関する環境整備を行ってきています。教育委員会でも取り組んでいる総合型地域スポーツクラブに保健師も参加し、保健、医療面の意見も取り入れていただき、連携しながら進めています。

**問** 健康寿命延伸に伴い、在宅介護、在宅医療に頼る方が増えると思われるが、今後の対策は。

**村長** 村内のサービス基盤は足りない状況にあり、ニーズを把握し、必要な施設の充実に努めたいと思います。

【電気自動車用充電施設について】

**問** エコリズムをうたっている村として必要な設備と考えるが

**村長** 環境保全是、地域の魅力の向上、観光客に対するおもてなしにも繋がるものであり、電気自動車の導入も含めた整備計画策定を、平成25年度以降に考えています。